

附属学校の取り組み

中央大学杉並高等学校

全国高校教育模擬国連

～2大使が優秀賞受賞！～

第2回全国高校教育模擬国連(AJEMUN主催)で本校生徒10名5ペアが各国の大使として出場、うちエルサルバドル大使を務めた3年生ペアと中国大使を務めた1年生ペアが優秀賞を受賞しました。模擬国連とは、国際政治の仕組みを理解し、解決策を考える教育プログラムのことで、今から90年ほど前にハーバード大学で始まりました。

今回出場した生徒はすべて初出場であり、担当国以外の国の調査も皆で分担し、議論を重ねた上で大会に臨みました。2ペアの受賞は、中杉チーム10名の協力の賜物とも言えます。

これ以外にも、模擬裁判選手権関東大会準優勝、クムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会最優秀賞、審査員特別賞、日経ストックリーグ入選など、様々な大会で本校の生徒が活躍しています。



中央大学附属中学校

博報財団プログラム

～世界10カ国より中学生来校！～

附属中学校は、開校以来国際交流プログラムに力を入れています。そのうちの1つ、昨年から継続して行われている博報財団が主催する「世界の子ども日本語ネットワーク推進」プログラムは、日本国内で2校選定されたうちの1校としてこの1年間参加をさせていただいています。これまでに本校生徒は、世界10カ国11校で日本語を学ぶ中学生との共同生活や学校交流、ホームステイなどを通じた交流をはかってきました。日本に関心を持つ同年代の子どもたちと触れ合うことは、本校生徒にとって互いの国や文化について理解を深める刺激的な体験となったばかりでなく、同じ地球に生きる人として共通することを発見する貴重な機会となりました。7月には、今回来日した台湾の学校を本校生徒8名が訪問し、約1年間におよぶプログラムは完結します。今後もこのような貴重な体験機会を増やし、高校や大学でのより深い学習活動にいかしていきたいと思います。



中央大学附属横浜高等学校

附属横浜の進学力

～2018年度実績～

本校は多様な進路を選択できるように、英・数・国の基礎的内容は高2までで終わらせるなど、全員が大学受験に対応できる学力を身につけます。中央大学への内部推薦は、条件付きで他大学併願も認められており、この制度を活用するなどして、毎年約50%の生徒が他大学受験に挑戦しています。2018年度卒業生については、卒業生の約7割の276名が中央大学に進学し、他大学を受験した生徒の中には、東大に2名、京大・東工大に各1名、一橋大に2名、また国公立大学医学部に2名など、難関大に合格した者もいます。こうした生徒たちに引けを取らない学力を持って進学した生徒が、中央大学において更なる飛躍を遂げることを期待しています。



中央大学高等学校

CHUO UNIVERSITY HIGH SCHOOL

創立90周年記念式典・祝賀会を挙行

中央大学高等学校は、1928年(昭和3年)の創立から90周年を迎えました。それを記念して、2018年11月16日(金)午前11時、文京シビック大ホールにおいて式典を挙行いたしました。また同日13時30分より東京ガーデンパレスホテルにて祝賀会を挙行いたしました。

式典は、開式の辞の後、合唱部とともに全校生徒全員で校歌(本校の校歌は中央大学と同一)を斉唱しました。今井桂子校長の式辞の後、成澤廣修文京区長、近藤彰郎東京私立中学高等学校協会会長のお二方よりご祝辞を賜り、中央大学からは大村雅彦理事長、酒井正三郎総長、福原紀彦学長からご祝辞を頂戴しました。

その後、演劇部による約10分の「中大高ヒストリー」が上演されました。それは、本校の苦難の歴史とこれからの未来を見据えたものであり、ご覧になった方からは、とても良かったというお言葉を頂戴しました。

今後も、この文京区にある高校として地元根差しつつ、中央大学最初の附属校としての誇りを持って「自分を育てる、世界を拓く。」という標語の通り、世界を見据えた、視野の広い、深みのある人物の育成を目指し、100周年に向けて一步一步着実に歩み続けてまいります。

どうぞこれからも本校を応援していただきたく存じます。

